

令和3年度主催・共催事業から こんな活動をしています！

荒川クリーンアップ大作戦はSDGs？

ふるさとの川・荒川づくり協議会の発足以来、毎年春と秋に開催している「荒川クリーンアップ大作戦」、昨年度は新型コロナウイルスの影響により開催を中止したため、2年ぶりの開催となりました。



1回目が6月26日(土)、2回目が10月2日(土)に開催され、各々500名を超える個人・各団体及びその家族の参加をいただき、下流は信夫橋から、上流は地蔵原堰堤の上流にある大暗渠堰堤までの7区間に分かれて、堤防や川縁付近のゴミ拾いを実施しました。ご参加いただいた皆様方に感謝申し上げます。その皆様方のご協力のおかげもあり、荒川は11年連続水質日本一の栄誉に輝いております。

河川にあるゴミは、景観上良くないばかりか、雨により増水したときに海に流れ出て、海洋プラスチックゴミなどとして地球全体の問題にもなります。このクリーンアップ大作戦を通じて、一人でも多くの方々に河川に目を向けていただき、河川・水環境を守っていくことで、いま注目を集めているSDGsの幾つかの目標に向かって行くものと思っています。引き続き、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

あらかわ自然楽校「荒川下流域歴史探訪」9月4日(土)

荒川流域の史跡を訪ねふるさとの歴史を学ぶ「あらかわ自然楽校」には、会員等15名が加しました。当協議会が主催する歴史探訪会は荒川流域の魅力を再発見しようと毎年上流から順次開催しており、現地を見て、聞いて、学べる楽校として好評を得ています。今年は、最下流である阿武隈川との合流地域を巡りました。講師に日本考古学会の柴田俊彰氏を招き、あいにくの小雨模様の中でしたが、清明小学校周辺の旧荒川河川敷の現地を見ながら、信夫橋、大山祇神社、旧4号国道に架かる荒川橋、阿武隈川改修を担った内務省仙台出張所跡地(戦後建設省福島工事事務所に変更)などを案内いただきました。荒川とともに歩み、発展してきた福島の歴史について改めて認識を深めました。



外来植物調査

9月26日(日)

河川パトロール 5月～3月

荒川地区外来植物調査等業務の一環として、八木田橋から信夫橋間の外来植物分布状況の調査と、河川パトロールとして小富士橋から信夫橋間の河川施設の異常、河川の利用状況、不法投棄など調査し報告しています。独自の調査も含め植物は目視で行っていますが、桜づつみ河川公園、荒川橋、地蔵原堰堤付近では百数十種もの樹木と草を見つけています。全体的に植生はほぼ安定していますが、近年、アレチウリやセイタカアワダチソウの外来植物が勢力を伸ばし在来植物を脅かしています。また、年数回実施の水質調査では、11年連続水質日本一の名の通り、濁りや臭いは感じられず、水の汚れを判定するパックテストは判定0から1で、水生生物もきれいな水を好むカワゲラやヘビトンボの幼虫が見つかります。

清流日本一の荒川の実態に触れながら自分なりの学習をするには、当協議会が実施している生物調査等は魅力的なものです。



桜の剪定

2月19日(土)

荒川沿いに植栽された荒川千本桜も大きくなり、枝も混み合ってきました。病害虫に侵された枝や混み合っている枝、道路にはみ出している枝などを取り除くため、環境保全活動の一環としてさくら橋上流右岸にある桜の選定作業を行いました。



夏休み「親子自然観察会」に参加協力

7月24日(土)

吉井田学習センターとの共催で実施した「親子自然観察会」には、小学生とその親29名が参加しました。本教室は荒川沿岸の自然観察を通じて親子で環境との共生を学び、身近な水辺環境を見直す契機とすることを目的としており、当協議会の活動や環境保全活動の大切さを学ぶ機会にもつなげています。



美しい荒川歩く素晴らしい一日

6月6日(日)

緑の美しい快晴の日、「あらかわ・ふるさとの川ウォーキング」が開催され、地元の中学生24名が協力し、当協議会役員補助の下、四か所に分かれて案内・説明を行いました。手づくりパネルには認定土木遺産を始め、荒川の野草、野鳥などを紹介、各ポイント地点で、生徒たちはわかりやすく丁寧に説明していました。参加者の興味は、土木遺産の霞堤、地蔵原堰堤、NHK朝ドラ「エール」で放送された水林自然林にありましたが、11年連続水質日本一の荒川を眺めながらのウォーキングは健康増進にも大いに役立ったことでしょう。

サマーショートボランティアスクールに協力7月25日～8月13日

高校生の学びと体験を応援！SDGsにつながる学び！

福島市社会福祉協議会が主催する「第30回サマーショートボランティアスクール」に当協議会ではじめて参加協力をしました。延べ6日間、会場の荒川桜づつみ河川公園を中心に、市内の高校生33名が参加、当協議会役員による荒川の地勢、水環境、流域の生物、暴れ川と洪水対策、土木遺産や当協議会の活動、ボランティアについての説明のほか、実際に役員とともに清掃活動を行いました。猛暑の中、暑さ対策をしながら高校生たちは熱心に受講し、意欲的に活動してくれました。高校生からは、ボランティアとは何かを学べた、実践を通じて自分の考えが変わった、自分の住む地域の環境を知る良い機会となった、自分の身の回りに目を向けて行動していきたい、ボランティアは社会のためであり自分のためでもあることが印象的だった、など多数寄せられました。当協議会役員にとっても実践に向き合う高校生の姿に素晴らしさを感じ、意欲的な姿に感動しました。



河川浄化作業「小富士橋堤防の草刈り」

6月23日(水) 9月29日(水)

河川浄化の一環として毎年、小富士橋右岸の除草作業を実施しています。小富士橋右岸周辺は、水防林としての大きな役割を果たしてきた水林自然林に隣接し、先人が残した江戸時代の霞堤をはじめ水天宮に近く、土木遺産の地蔵原堰堤に向かう入口にもあたる場所です。季節によりウォーキングなどの健康づくりや景観を楽しみながらリフレッシュする方々を多く見かけます。

荒川流域の環境保全・学習活動実施

当協議会では地域の各種団体等と連携・協力し学習会や環境保全活動を行っています。10月25日には、更生保護・福島市自立更生促進センターの依頼により、同センター入所者及び職員が参加した社会貢献活動として、荒川桜づつみ河川公園等の清掃作業を行い、環境保全活動に協力していただきました。また、同月28日には、三河台地区老人クラブ連合会会員23名が当協議会の案内により、土木遺産を巡り歴史的価値を学びながら紅葉の荒川流域のウォーキングを楽しみ爽やかな汗を流しました。

鈴木信良さんを悼む

昨年11月、当協議会鈴木信良副会長が急逝しました。鈴木さんには幹事、副会長として外来植生調査、河川浄化・桜の選定作業のほか、視察・研修会の案内役や事務事業に格段の協力をしていただきました。突然のことで、寂しい気持ちで一杯です。心からご冥福を祈ります。

トピックス

ふるさとの川・荒川 水質日本一11年連続

国土交通省の河川水質調査で今年も荒川が『水質日本一』に輝きました。11年連続です。調査対象になるのは全国159河川で、BOD(生物化学的酸素要求量)の年間平均値が1リットル当たり0.5ミリグラムの河川が「水質が最も良好な河川」として評価され、今回は18河川でした。11年連続は全国でも第2位の素晴らしい評価です。荒川づくり協議会は創設24年を迎え、これからもこの荒川と共に生きる団体として活動を続けていきます。

助成金に感謝 環境保全活動に貢献

今年度、(財)福島県林業会館フォレスト助成(協賛)事業により活動助成金をいただきました。今回桜の剪定作業用として「充電式チェーンソー」、除草作業として「充電式刈払機」を購入しました。森林整備においては、効率的に作業ができますこと、会員一同心より御礼、感謝申し上げます。ありがとうございました。

福島民友新聞社から記念品贈呈

4月14日(木)、荒川の歴史や魅力水質保全に尽力する団体として福島民友新聞社から当協議会に記念品が贈呈されました。

塩の川第7砂防堰堤完成披露会

5月28日(金)、国土交通省東北整備局福島河川国道事務所主催の「塩の川第7砂防堰堤完成披露会」が現地で開催され、当協議会長が出席し完成を祝いました。

人と環境、景観の共生を目指して



代表取締役 渋谷 浩一

〒969-1651 福島県伊達郡桑折町大字万正寺字妻田2-3
TEL 024-582-2315 FAX 024-582-6443

地域社会とともに 安全・技術・誠実



代表取締役 多田 恵造

本社/〒960-0102 福島市鎌田字中森山1-1
TEL (024) 535-6161 FAX (024) 533-4712
伊達支店/〒960-0673 伊達市保原町字野崎20-2
TEL (024) 575-5333 FAX (024) 575-5370
URL https://www.tada-kensetsu.com/

☆☆☆人と自然環境に優しく社会に貢献する☆☆☆



株式会社 丸立渡辺組

代表取締役 渡辺 政二

本社/〒960-1245 福島市松川町浅川字包崎22-1
TEL 024-567-3333(代) FAX 024-567-3332

川をきれいに.水を大切に.緑豊かな自然と共に.



株式会社 渡辺土木

代表取締役 渡辺 兼光

〒960-8166 福島市仁井田字前林川原2-8
TEL 024-535-5175 FAX 024-533-8021